

2012年度 物理学及応用物理学専攻 学位授与式 大学院担任挨拶

小澤徹

皆様、修士課程修了、誠におめでとうございます。皆様は何年もこの物理・応用物理教室に在籍して居た訳ですが、その設立や経緯については殆んど知らないでしょうから、私が説明致します。応用物理学科の設立は1949年、物理学科の設立は1965年ですが、その起源は今から90年前の1923年の恩賜記念館に設置された基礎工学実験室に在ります。応用物理学科初代教授の宮部宏先生、小泉四郎先生もここで研究をスタートさせています。宮部先生は、有機絶縁材料の電氣的性質の湿度特性をはじめ、物性実験のオリジナリティ溢れる研究を行いました。小泉先生は回路網理論と演算子法に関する基礎研究、不定計量のリーマン幾何をはじめ、理論物理の最先端の研究を行いました。

本専攻では、優秀な修士論文を書いた実験系及び理論系の修了生に、それぞれ初代教授のお名前を冠した賞、宮部賞と小泉賞を授与し、表彰しています。最終選考に残った修士論文は、どれもレベルの高い研究に基づくものであり、大変素晴らしく大いに感心しました。流石、早稲田の物理・応物です。今後、社会や博士課程に於いて、その実力に一層磨きを掛けて下さい。

今の世の中は大変です。これからはもっと恐しい時代になるでしょう。苦しい中でも、自分の足で立ち、自分の頭で考え、時に誰かの助けを借りながら、何とか新しいものを創り出して下さい。

宮部先生や小泉先生は、物理出身ではありません。

物理を自ら切り拓き、応用物理学科を創り、それが物理学科設立、物理学及応用物理学専攻創設へと繋がって行ったのです。

「早稲田の物理・応物の出身者は流石に違う」という評判を聞くのを楽しみにして、私のご挨拶と代えさせて戴きます。

本日は誠におめでとうございます。